

令和三年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

国語

受験番号		氏名	
------	--	----	--

- 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 問題は、一ページから四ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 「終了」の指示があつたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- この問題用紙は、持ち帰ってください。

一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(児玉聡『実践・倫理学 現代の問題を考えるために』による)

問一 傍線部①、②について、カタカナは漢字に改め、漢字は読みを平仮名で書け。

問二 A・Bに当てはまる語を、本文中からそれぞれ抜き出して書け。

問三 傍線部Ⅰ『走れメロス』の作者名を漢字で書け。また、この作者による作品を次から全て選べ。

ア 桜桃 イ 草の花 ウ 砂の女 エ 津軽 オ 道化の華 カ 豊饒の海 キ 李陵

問四 傍線部Ⅱ「何らかの制裁」とは、具体的にどのようなものか、答えよ。

問五 傍線部Ⅲ「一般に義務には二種類あると言われる」とあるが、二種類の義務について分かりやすく示した板書例を書け。なお、板書には、それぞれに対応する適切な具体例を示すこと。

問六 傍線部Ⅳ「超義務 (supererogation) という種類の行為」とあるが、「超義務」とはどのようなものか、説明せよ。

問七 傍線部Ⅴ「はたして、善行は義務なのだろうか、あるいは義務ではないのだろうか」とあるが、このことに着目して生徒の理解をより深めたい場合、国語科の言語活動としてどのようなものが考えられるか、書け。

問八 本文を、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の国語に示された新科目(「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「文学国語」「国語表現」「古典探究」)のいずれかで使用するとしたら、どの科目の教材として用いるのが適切だと考えられるか。適切だと考えられる科目の目標に触れながら、その理由を書け。

二次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(『土佐日記』による)

(注) 同じ港・・・作者たちが高波により足止めされている港。 白馬・・・白馬の節会。宮廷行事の一つ。
うるへいひて・・・大げさに嘆いて。 手捺す・・・署名捺印する。

問一 二重傍線部ア～ウの読み方を、平仮名で答えよ。(現代仮名遣いでよい。)

問二 波線部 a～d を口語訳せよ。

問三 傍線部①は、具体的にどのようなことを述べているのか、説明せよ。

問四 傍線部②は、Xの歌のどのような点が「をかし」とであると述べているのか、説明せよ。

問五 傍線部③のように述べているのは、Yの歌にどのようなことが詠まれていたからか、説明せよ。

また、傍線部③には書き手のどのような心情が込められているか、次から一つ選び、記号で答えよ。

A 賞賛 B 驚愕 C 追従 D 揶揄 E 悲嘆

問六 Xの歌の詠み手とYの歌の詠み手はそれぞれどのような人物か、文中の記述に即して説明せよ。

問七 傍線部④、⑤は、それぞれ誰の行動か、次から一つずつ選び、記号で答えよ。

A 『土佐日記』の書き手 B Xの歌の詠み手 C Yの歌の詠み手 D 童 E 嬬、翁

問八 傍線部⑥について、書き手がこのように感じたのはどうしてか。Zの歌の特徴に触れながら、理由を説明せよ。

問九 傍線部⑦について、品詞分解し、文法事項を説明するための板書例を示せ。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部訓点を省略した所がある。)

(『墨子』による)

(注) 六將軍… 智氏(智伯)、中行氏、茲范氏、趙氏、韓氏、魏氏の六氏のこと。 差論… 選ぶこと。
爪牙之士… 精銳士官。 陸… 川などの岸。 除道… 道を清めること。出陣に当たって行う。
吉与凶… 運命の吉凶。 墨子… 諸国の君主たちに他国を侵略をしないよう説いた思想家。

問一 波線部 a ㄱ e の語の読み方を、送りがなも含め、平仮名で答えよ。(現代仮名遣いでよい。)

問二 傍線部 ① を、全文平仮名の書き出し文に改めよ。

問三 傍線部 ② は、誰がどういうことをしたと述べているのか、分かりやすく説明せよ。

問四 傍線部 ③ について、何を「不止」なのか、文中から漢字二字の語を抜き出して答えよ。

問五 傍線部 ④ は、どのような状況を説明するための喩えか、文中の記述に即して記せ。

問六 傍線部 ⑤ について、適切に言葉を補って現代語訳せよ。また、「魚水」と「陸」は、それぞれ何のことを喩えているのか、文中の語で記せ。

問七 傍線部 ⑥ について、君子がこのようにするのはどうしてか、文中の記述に即して説明せよ。

問八 傍線部 ⑦ に、訓点を記入せよ。ただし、「嘗」は「こころみ(に)」と読むこと。

問九 傍線部 ⑧ について、「其」の内容が分かるように言葉を補って、現代語訳せよ。

科目	国語解答用紙	一枚中の二	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(3年)

問一	①		②		③		④		⑤	
----	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

	⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二	A		B	
----	---	--	---	--

問三	作 者 名		記 号	
----	-------------	--	--------	--

問四	
----	--

問五	
----	--

問六	
----	--

問七	
----	--

問八	
----	--

科目	国語解答用紙	二枚中の二	受験番号	氏名
----	--------	-------	------	----

(3年)

二

問一	ア	イ	ウ
----	---	---	---

問二	a	b
	c	d

問三	
----	--

問四	
----	--

問五	(説明)	(記号)
----	------	------

問六	Xの歌

	Yの歌

問七	④	⑤
----	---	---

問八	
----	--

問九	
----	--

三

問一	a	b	c	d	e
----	---	---	---	---	---

問二	
----	--

問三	
----	--

問四	問五
----	----

問六	(現代語訳)

	(魚水) (陸)

問七	
----	--

問八	蓋嘗鑑之於智伯之事乎。
----	-------------

問九	
----	--

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	国語解答用紙	二枚中の一	受験番号	氏名
----	--------	-------	------	----

(3年)

どちらでも可

問一	① 讓	② 寄付(附)	③ 驅	④ 敢	⑤ 概念
	⑥ 許容	⑦ かしやく	⑧ 扶養	⑨ とうや	⑩ 任

【①点×10＝⑩点】

問二	A 善行	B 義務
----	------	------

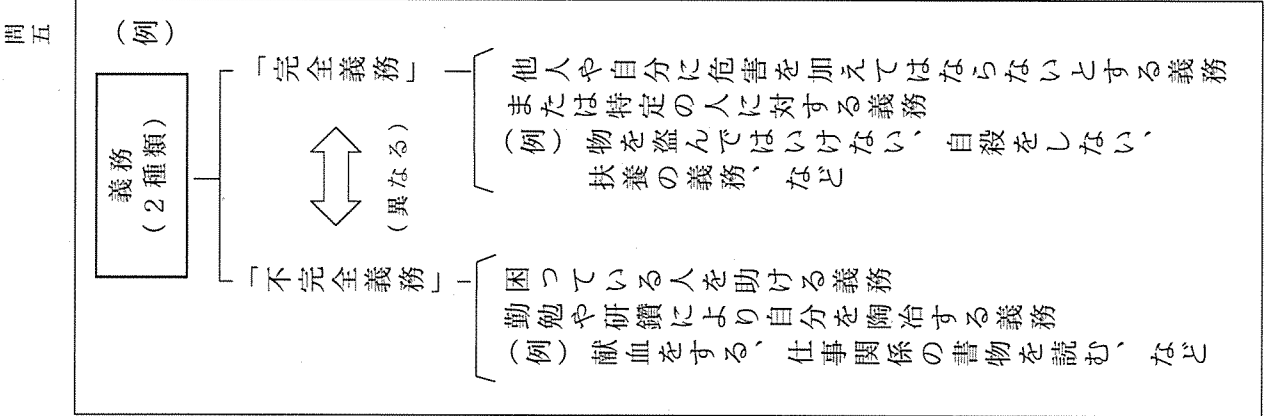
【各②点・順不同】

問三	作者名 太宰治	記号 ア、工、オ
----	---------	----------

【作者名 ②点 記号 ③点】

問四 (例) 他人から非難されたり、良心の呵責を感じたりすること。

【⑤点】



【⑧点】

問六 (例) 英雄的な行為や大きな自己犠牲を伴う行為など、不履行を非難されることがなく、やれば賞賛されるものを「超義務」の行為と位置付ける。「超義務」は義務を超えたものであり、すべての人が負うべきものである「義務」とは区別される。

【⑥点】

問七 (例) 「善行が義務であるか義務ではないか」について述べられた複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。

【⑥点】

問八 (例) 「論理国語」の目標には、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにすると示されている。本教材は、論理的、批判的に考える力を伸ばすのにふさわしいと考えられるため、「論理国語」で使用するのが適切だと考えられる。

【⑥点】

以下はあくまでも解答の一例です。

科目	国語解答用紙
	二枚中の一
	受験番号
	氏名

(3年)

二

問一	ア ながびつ	イ わりご	ウ みぎわ・なぎさ
----	--------	-------	-----------

【①点×3＝③点】

問二	a 次々と担ぎ入れてよこした	b 波を立ててしまいそうだ
	c 寝めはするものの	d 本当に詠めるのだろうか

【②点×4＝⑧点】

問三 (例) 届けられた若菜が、今日が七草の節句だと知らせてくれた、ということ。

【②点】

問四 (例) 実際には水のない野辺で摘んだ若菜だが、地名にちなんで「池」で摘んだと詠んでいるところ。

【②点】

問五 (説明) (例) 港に残されて泣く自分の声の方が、荒れる波音よりも大きいということ。 (記号) D

【②点+①点＝③点】

問六 Xの歌 (例) 夫につき従って郡から下り、この場所に住んでいる、身分の高い人。
 Yの歌 (例) 大げさに嘆いたりして、歌を詠めるところを見せつけようとする人。

【②×2＝④点】

問七	④ D	⑤ C
----	-----	-----

【①点×2＝②点】

問八 (例) 童が、対句や縁語を駆使して、大人顔負けに、Yの歌の返歌を上手に詠んだから。

【②点】

問九 形容詞「うつくし」已然形／縁助詞／助動詞「なり」連用形／係助詞／ラ変動詞「あり」未然形／助動詞(推量)「む」連体形
 (例) うつくしけれ／ば／に／や／あら／む

【②点】

三

問一	a たるは	b おもえらく	c こときに	d ここをもつて	e より
----	-------	---------	--------	----------	------

【①点×5＝⑤点】

問二 (例) こうせんのすみやかなるにしくはなし(と)。

【②点】

問三 (例) 智伯が、自分と中行氏、茲范氏を合わせた三氏分の領地と人民を、自分一人のものとした。

【②点】

問四 攻戦 問五 (例) 趙氏が滅びれば、我々、韓と魏も滅ぶだろうという状況。

【②点】

【②点】

問六 (現代語訳) (例) 魚と水が、手を組もうと努力しなければ、横で見ている川岸が、いったいどうして、何かを始めるに至るだろうか、いや、ない。

(魚水) 韓・魏

(陸) 趙

【②点+①点＝③点】

問七 (例) 水に自分を映せば、容姿が見えるだけだが、他の人に自分の行いを照らし合わせて見れば、自分の運命が、吉か凶かを判断することができるから。

【②点】

問八 蓋_ハ嘗_ニ鑑_ミ之_ヲ於_テ智伯之事_ニ乎。

【②点】

問九 (例) 侵略を良策であると考えた人たちの運命が、不吉にして凶であることは、すでにお分かりはずでしょう。

【②点】